

令和5年度

肢体不自由教育部門

小学部

第5学年

⑬学習グループ

年間指導計画

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第 5 年	
教科等名	国語			学習グループ	⑬	
ねらい	<p>・日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。</p> <p>・筋道立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。</p> <p>・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数	175.5 時間	
使用教科書	あたらしい こくご 五上・下（東京書籍）小学書写五年（日本文教出版）					
主な指導の工夫	<p>・日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。</p> <p>・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。</p> <p>・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを資格して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>					
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	だいじょうぶだいじょうぶ	13	<p>◆ 作品の情景が伝わるように音読し、場面についての描写を捉えることができる。</p> <p>◇ 言葉の響きに気をつけて音読しながら、言葉の意味を考える。</p>			
5	動物たちが教えてくれる 海の中のくらし	9	<p>◆ 登場人物の心情の移り変わりを、心情表現に気をつけながら読むことができる。</p>			
	漢字の成り立ち 知りたいことを聞き出そう	8	<p>◇ 登場人物の心情の移り変わりを考えながら読み、物語の続きを書く。</p>			○
6	環境問題について報告しよう	9	<p>◆ 集めた資料を活用し、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書くことができる。</p>			
			<p>◇ 資料を用いて調べたことを報告する文章を書く。</p>			○

6	山場で起こる変化について考えよう。 世界で一番やかましい音	11	◆ 物語の構成を捉えて、物語の全体像を想像し、読み取ったことに基づいて自分の考えをまとめることができる。 ◇ 調べたことを報告する文章を書く。 物語を読み、自分の考えを伝え合う。						
7	書き手の意図を考えよう	10	◆ 事例と解説の関係をおさえ、言葉と事実について自分の考えを明確にしなが ら読むことができる。 ◇ 文章を読み、学級新聞を書くことを通 して言葉と事実の関係について考え る。						○
9	紙風船・水のころろ 注文の多い料理店 古文に親しむ	19 5	◆ 場面の変化や情景などについて、叙述 をもとに自分の考えをまとめることが できる。 ◇ さまざまな昔の作品を読みながら、詩 の世界を楽しむ。						○
10	和の文化について 調べよう 伝えたい、心に残る言葉 和語、漢語、外来語	15 9	◆ 話し言葉と書き言葉の、それぞれの特 徴を理解することができる。 ◇ 話し言葉と書き言葉の特徴の違いにつ いて理解したり、場に応じた言葉の選 び方の違いや表現の仕方の違いにつ いて理解する。						○
11	大造じいさんとガン	17	◆ 残雪に対する大造じいさんの心情の変 化を、心情表現に気をつけながら読 み、大造じいさんの立場になって書き かえることができる。 ◇ 残雪に対する大造じいさんの心情の変 化を読み、大造じいさんの立場になっ て書きかえる。						○
12	友達といっしょに、本を しょうかいしよう	5	◆ 本と本のつながりを見つけ、本を紹介 し合い、読書生活を広げることができる。 ◇ グループで本を紹介しあう。						○
1	古文のえがく四季	18	◆ それぞれの物語に関わった人々と、今 の自分たちとのものの見方や感じ方な どを比較して考えることができる。						

			◇ 昔から読み継がれている物語を読み、感想を書く。			○
2	テクノロジーの進化について考えよう 資料をみて考えたことを話そう	11	◆ あるテーマについて異なる面から見た複数の文章を読んだり、自分の経験や知識と照らしながら多面的にとらえて、自分の考えを深めることができる。 ◇ 文章を読んで考えたことをまとめる。			
3	伝記を読んで感想文を書こう 手塚治虫 「わたしの文章見本帳」を作ろう	9 7	◆ 筆者の心情や考えについて、自分なりの考えを発表し、考えを広げたり深めたりすることができる。 ◇ 筆者の心情や考えを読み、自分の考えをまとめる。			

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第 5 年	
教科等名	社会			学習グループ	⑬	
ねらい	<p>（1）我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>（2）社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したことを説明したり、それを基に議論したりする力を養う。</p> <p>（3）社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情や我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。</p>					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数	100 時間	
使用教科書	小学社会5（教育出版）					
主な指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教材を活用して、児童が興味・関心をもって学習に取り組めるようにする。 ・ICTを活用し、観察や見学、聞き取りなどの調査活動を含む具体的な体験を伴う学習やそれに基づく表現活動の充実を図る。 ・社会的事象の特徴や意味、社会にみられる課題などについて、多角的に考えたことや選択・判断したことを論理的に説明したり、立場や根拠を明確にして話し合ったりするなど言語活動に関わる学習を重視する。 					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	日本の国土とわたしたちのくらしオリエンテーション	1	<p>◆ 世界地図と地球儀それぞれの特性を捉えることができる。</p> <p>◇ 世界地図や地球儀などを使って、大陸、海洋について調べ、地図と地球儀のそれぞれの特徴について話し合う。</p>			
4	日本の国土と世界の国々	5	<p>◆ 世界の大陸と主な海洋、主な国の名称と位置について知ることができる。</p> <p>◇ 地図や地球儀を読み取り、世界の大陸や主な海洋、主な国の名称と位置を確かめる。</p>			
5	国土の気候と地形の特色	4	<p>◆ 日本の主な山地や山脈、平野、河川などに着目し、国土の地形の特色を捉え、地形と気温との関係を捉えることができる。</p>			

			◇ 土の地形の様子について地図資料を活用して調べ、気づいたことやわかったことを話し合う。	○		
5 6	自然条件と人々の暮らし	10	◆ 地域の自然条件と人々の暮らしとの関係から、人々が自然条件の特色を生かして産業を営んでいることなどを理解することができる。 ◇ 自然条件に特色のある地域の暮らしや産業について、その条件と関係するものをリーフレットに整理し、紹介し合う。			○
6 7	未来を支える食料生産オリエンテーション	1	◆ 様々な食料の産地や消費量に着目して、自分たちの食生活と食料生産とのつながりについて関心をもつことができる。 ◇ 主な食料の産地の広がりや消費量の変化について、地図や写真などの資料を使って調べ、気づいたことや疑問に思ったことを話し合う。			○
7	米づくりのさかんな地域	11	◆ 農家の人たちが安全や環境に配慮して米をつくっていることを捉えることができる。 ◇ 米づくりの作業の農家の人たちが気をつけていることについて考え、話し合う。			○
9	水産業のさかんな地域	9	◆ 安定した水産業を続けるためには、世界全体で水産資源の管理に取り組むこと、世界の消費者も相手にしながら生産・出荷を進めることなどが大切であることを捉えることができる。 ◇ 世界の水産業の現状を複数の資料から調べ、安定した水産業を続けるために大切なことを考える。			○
9 10	これからの食料生産	5	◆ 国内で食料を生産し、安定して確保するには様々な立場からの協力が大切であることを捉えることができる。 ◇ 安定的な食料の生産や確保のために大切なことを整理する。			○
10 11	自動車の生産にはげむ人々	10	◆ 自動車工場の立地や規模、施設、生産の概要について、詳しく調べたいことを話し合い、学習計画を立てることができる。			

			◇ 工場見学や資料の読み取りから、自動車の生産工程を調べ、そこに見られる工夫や努力について話し合う。	○		
11	日本の工業生産と貿易・運輸	5	◆ 学習問題をつくり、追究の見通しをもつことができる。 ◇ 日本の工業生産額の変化を資料から読み取ったりして、わかったことやさらに調べたいことを話し合い、学習問題をつくる。			○
11	日本の工業生産の今と未来	8	◆ 国内の工業の産地や工業生産額、種類などに注目して学習問題を作成することができる。 ◇ 資料を読み取り、わかったことや更に調べたいことを話しあう。			○
12	くらしと産業を変える情報通信技術	13	◆ ICT活用の進展に伴う社会の変化や課題について考えることができる。 ◇ ICTの活用が暮らしや産業に与える影響、社会の変化や課題について話し合う。	○		
1	自然災害とともに生きる	7	◆ 様々な自然災害の発生と国土の自然条件との関係や、自然災害が国民の生活に及ぼす影響について捉えることができる。 ◇ 自然災害の発生と国土の自然条件との関係について話し合う。	○		
2	森林とともに生きる	6	◆ 林業に関わる新しい取り組みの例を各種資料から読み取り、その意味について話し合うことができる。 ◇ 森林と自分たちの生活とのつながりについて考える。	○		
3	環境をともに守る	5	◆ 生活環境を守ることの意味について捉えることができる。 ◇ 自然環境を守ることと自分たちの健康な生活との関係について考え、話し合う。	○		

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	小学部	学年	第5年	
教科等名	算数			学習グループ	⑬	
ねらい	<p>(1) 整数の性質、分数の意味、小数と分数の計算の意味、面積の公式、図形の意味と性質、図形の体積、速さ、割合、帯グラフなどについて理解するとともに、小数や分数の計算をしたり、図形の性質を調べたり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。</p>					
	<p>(2) 数とその表現や計算の意味に着目し、目的に合った表現方法を用いて数の性質や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力などを養う。</p>					
	<p>(3) 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数	175 時間	
使用教科書	わくわく算数5年(啓林館)					
主な指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントなどを使い、繰り返し学習し理解を深める。 ・視覚的に分かりやすくするため、また日常生活への般化を意識し、具体物を使って指導する。 					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	整数と小数	8	<p>◆ 整数や小数について、10倍や1/10にしたときの小数点の移動の仕方を考えることを通して、十進数の仕組みや表し方の理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 小数も整数も同じ十進位取り記数法をもとにしていることを理解し、整数や小数を10倍、100倍、1000倍した数や1/10、1/100、1/1000にした数を求める。</p>			
				○		

			<ul style="list-style-type: none"> ◇ 十進数の仕組みや表し方に着目して、整数や小数を10倍、100倍、1000倍したり、$1/10$、$1/100$、$1/1000$にしたときの小数点の移動の仕方を考える。 ◇ 十進数の仕組みのよさに気づき、小数の仕組みや表し方について深く学ぼうとする。 	○		
4	体積	9	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 直方体や立方体の体積について、その比べ方や表し方を理解し、求め方や公式を考えたり単位を適切に用いて表現したりすることを通して、体積の理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ◇ 体積や容積の意味がわかり、単位「cm³」「m³」を知り、直方体や立方体の体積を求める。 ◇ 長方形や正方形の面積の求め方や公式をもとにして、直方体や立方体の体積の求め方や公式を考えたり、これを活用して簡単な複合図形の体積の求め方を工夫したりする。 ◇ 単位となる大きさの何個分としてのものの大きさを数値化することのよさがわかり、進んでこれを活用しようとする。 			
				○		
				○		
				○		○
5	比例	8	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 伴って変わる2つの数量について、その変化の様子や関係について調べたり考えたりすることを通して比例の意味を理解するとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ◇ 比例の意味を知り、簡単な場合についての比例の関係を理解する。 ◇ 簡単な場合について、比例しているかどうかを判断する。 ◇ 伴って変わる2つの数量の関係に関心をもち、進んで表や図を使って考えたり、説明したりしようとする。 			
				○		
				○		
				○		○
5	小数のかけ算	11	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 小数をかける計算について、その意味や仕方を考えたり説明したりすることを通して小数のかけ算になる場面をとらえて計算できるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。 			

			<ul style="list-style-type: none"> ◇ 小数の乗法の意味やその仕方を理解し、小数の乗法の計算ができる。また、小数の計算においても交換法則や結合法則、分配法則が成り立つことを知る。 ◇ 小数の乗法の意味やその仕方について、既習の整数の場合をもとにしたり、小数の仕組みや計算のきまりをもとにしたりして考える。 ◇ 図を用いたり、小数の仕組みや計算のきまりを用いたりして、小数の乗法の意味とその計算の仕方を考えようとする。 	○		
6	小数のわり算	14	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 小数でわる計算について、その意味や仕方を考えたり説明したりすることを通して小数のわり算になる場面をとらえて計算できるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ◇ 小数の除法の意味やその仕方を理解し、小数の除法の計算を行う。 ◇ 小数の除法の意味やその仕方について、既習の整数の場合をもとにしたり、小数の仕組みや計算のきまりをもとにしたりして考える。 ◇ 図を用いたり、小数の仕組みや計算のきまりを用いたりして、小数の除法の意味とその計算の仕方を考えようとする。 			
				○		
					○	
						○
6	合同な図形	11	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 合同な図形や多角形の角の大きさについて、図形を重ね合わせる活動を通して合同の意味を理解し、合同な図形の性質や作図の仕方を考えたり多角形の角の大きさを調べたりすることを通して、平面図形についての理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。 			

			<ul style="list-style-type: none"> ◇ 合同の意味や性質を理解し、頂点、辺、角の対応をみつけて合同な図形を作図する。 ◇ 合同の観点から既習の基本図形の性質を考えたり、合同な図形を作図や多角形の内角の和の求め方を通して形や大きさのきまり方を考えたりする。 ◇ 身のまわりや既習の図形の見方に関心を持ち、進んで合同な図形の性質調べや作図などに取り組もうとする。 	○		
7	整数	12	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 整数の性質について、偶数・奇数や倍数・約数の意味を理解し、倍数や約数の求め方を考えたりそれらを使って問題解決したりすることを通して整数の見方・考え方を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ◇ 偶数・奇数の意味や倍数・約数などの意味を理解し、整数の性質についての理解を深め、整数を偶数と奇数に類別したり、倍数・約数などを求めたりする。 ◇ 整数を偶数・奇数という観点から類別したり、倍数・約数という観点から考察したりする。 ◇ 偶数・奇数、及び、倍数・約数の意味をもとに、整数の性質を見出そうとしたり、問題を解決しようとしたりする。 			
				○		
					○	
						○
9	分数（1）	12	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 分数について、分母が異なるときの比較や加減計算の仕方を考えたり説明したりすることを通して、約分や通分の意味を理解して処理できるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ◇ 分数の約分・通分について理解し、異分母分数の加減計算を行う。 ◇ 単位の考えに着目して、異分母分数の加法や減法の計算の仕方を考える。 ◇ 進んで分数の性質を調べたり、いろいろな分数の加減計算に取り組もうとしたりする。 			
				○		
					○	
						○

10	図を使って考えよう	6	<p>◆ 文章題において、問題場面を図に表して同じものに着目して解法を考えることを通して、相殺や置換の考え方を使って解くことができるようにするとともに、用いた図や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 相殺や置換の考え方を理解する。</p> <p>◇ 数量の関係を図に整理し、同じものに目をつけて相殺や置換の考え方をを使って解決する。</p> <p>◇ 相殺や置換の考え方をを使って解く思考法のよさがわかり、進んで活用しようとする。</p>	<div style="background-color: #cccccc; height: 40px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40px; display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">○</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40px; display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">○</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40px; display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">○</div>
10	面積	13	<p>◆ 三角形や四角形の実積について、その求め方や公式を考えたり説明したりすることを通して、面積を求めることができるようにしたり平面図形の見方・考え方を深めたりするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 底辺と高さの意味を理解し、公式を用いるなどして三角形や四角形の実積を求める。</p> <p>◇ 既習の実積公式をもとに、三角形や平行四角形などの面積を工夫して求めたり、公式をつくったりする。</p> <p>◇ 既習の実積公式をもとに、三角形や平行四角形などの面積の求め方や公式を進んで見いだそうとする。</p>	<div style="background-color: #cccccc; height: 40px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40px; display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">○</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40px; display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">○</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40px; display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">○</div>
11	平均とその利用	6	<p>◆ 平均について、その意味や求め方を理解し、いろいろな場面で平均を調べたり平均を使って考えたりすることを通して、その理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 平均の意味や求め方を理解し、平均を求めたり、それを用いて長さなどを概則したりする。</p> <p>◇ 平均の意味にもとづいて、部分の平均から、全体量の見積もり方を考えたり、全体の平均の求め方を考えたりする。</p>	<div style="background-color: #cccccc; height: 40px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40px; display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">○</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40px; display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">○</div>

			◇ 平均を用いることによさに気づき、進んで身近な事柄の考察や表現に用いようとする。			○
11	単位量あたりの大きさ	7	<p>◆ 混みぐあいなどについて、その比べ方や表し方を考えたり説明したりすることを通して単位量あたりの大きさを求めて比べることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 単位量あたりの大きさを求めたり、それを使って混みぐあいを比べたりする。</p> <p>◇ 混みぐあいなどの異種の2量が関係する事柄の程度の比べ方を考え、単位量あたりの大きさを使って表したり、程度の大小を判断したりする。</p> <p>◇ 単位量あたりの大きさを比較することのよさがわかり、進んで身のまわりの異種の2量が関係する事柄の程度を比べようとする。</p>			○
11	分数（2）	6	<p>◆ 分数について、商としての分数の意味を理解し、分数や小数・整数の関係を調べたり分数を使って割合の問題を解決したりすることを通して、分数の理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 商としての分数の意味や、分数と小数・整数の関係について理解する。</p> <p>◇ 分数の意味や表現に着目して、商を分数で表したり、分数と小数・整数の関係について考えたりする。</p> <p>◇ 分数のよさがわかり、進んで分数の性質を調べたり、分数のさまざまな意味をまとめたりしようとする。</p>			○
11	割合	9	<p>◆ 割合について、その意味や百分率などの表し方を理解し、割合を使った問題や割合が増減する問題を解決することを通して、割合の見方・考え方を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 割合の意味と表し方を理解し、百分率などを用いて数量の関係を正しくとらえて計算処理する。</p>			○

			<ul style="list-style-type: none"> ◇ 割合を用いて、数量の関係を考えたり、比較したりすることができる。また、割合の和や差、積を考えて問題を解く。 ◇ 割合で考えたり比較したりすることのよさを知り、これを用いて数量の関係を判断しようとする。 	○		
12	表を使って考えよう (1)	6	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 文章題において、数量の関係を表に整理してその増え方に着目して解法を考えることを通して、数の少ない場合から順に調べる考え方を使って解くことができるようにするとともに、用いた表や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ◇ 伴って変わる2つの数量に着目し、それらの関係を表に整理する。 ◇ 図や表をもとに考え、2つの数量の間のきまりを見つけ出すことができる。また、「数の少ない場合から順に調べる」思考法のよさがわかり、これを活用して問題を解く。 ◇ 伴って変わる2つの数量をみつけ、それらの関係を表に整理して進んで調べようとする。 			
1	円と正多角形	7	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 円と正多角形について、正多角形の構成や作図などの活動や円周の求め方を考えるといったことを通して、平面図形の理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ◇ 正多角形の意味と性質を理解し、作図することができる。また、円周率の意味とその求め方を理解し、円の直径から円周を求めたり、円周から直径を求めたりする。 ◇ 円や正多角形の性質を活用して、正多角形の作図の仕方を考えることができる。また、直径と円周の関係を、見通しをもって帰納的に考える。 ◇ 円や正多角形に関心を持ち、その性質について調べようとする。 			
				○		○
				○		○
				○		○

1	割合のグラフ	6	<p>◆ 割合のグラフについて、帯グラフや円グラフを用いた分類・整理の仕方を理解し、それをもとに事象の特徴を考察したり説明したりすることを通して、統計的に問題解決する力を育むとともにその方法を生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 帯グラフや円グラフについて理解し、帯グラフや円グラフを用いて資料を整理することができる。また、統計的な問題解決の方法を理解する。</p> <p>◇ 帯グラフや円グラフをもとに適切に判断したり、集めた資料を整理するのに適切なグラフを選択したりすることができる。また、得られた結論について多面的に考える。</p> <p>◇ 帯グラフや円グラフのよさや統計的な問題解決の方法を知り、身のまわりの事柄などを調べるときにそれをいかそうとする。</p>			
2	角柱と円柱	6	<p>◆ 角柱や円柱について、観察を通してその分類や意味を理解し、その構成要素に着目して性質を調べたり見取り図や展開図のかき方を考えたりすることを通して、立体図形の理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 角柱や円柱の意味を知り、その特徴を調べて理解することができる。また、三角柱や円柱の見取り図や展開図をかく。</p> <p>◇ 角柱や円柱の構成要素に着目して、分析的に特徴を考えることができる。また、見取り図や展開図のかき方を考える。</p> <p>◇ 角柱や円柱の特徴に関心を持ち、進んでその特徴を調べたり、見取り図や展開図をかこうとする。</p>			

2	速さ	9	<p>◆ 速さについて、その比べ方や表し方を理解し、いろいろな速さに関する問題を解決することを通して、速さ・道のり・時間の関係の理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 速さの意味について理解し、速さを時速、分速、秒速などの単位を用いて表したり、比べたりする。</p> <p>◇ 単位量あたりの考え方をういて、道のりと時間の関係をもとに速さを考えたり、道のりや時間の求め方を考えたりする。</p> <p>◇ 単位量あたりの考え方をういて、進んで速さ・道のり・時間の関係を調べようとする。</p>	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> </table>				○				○				○
○																
	○															
		○														
3	変わり方	9	<p>◆ 伴って変わる2つの数量について、その関係を○や△を使って式に表したり表に整理して変わり方を調べたりすることを通して、変化の特徴を捉えたり、比例するかどうかを判断したりすることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 伴って変わる2つの数量の関係を、○や△を使って式に表したり、変わり方を表にかいて調べたりする。</p> <p>◇ 伴って変わる2つの数量を見つけ、その関係を式や表を用いて考えることができる。また、その関係が比例するかどうかを判断し、説明する。</p> <p>◇ 進んで伴って変わる2つの数量をみつけようとしたり、その関係や変化を式や表を用いて調べようとしたりする。</p>	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> </table>				○				○				○
○																
	○															
		○														

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第 5 年	
教科等名	理科			学習グループ	⑬	
ねらい	（１）自然の物事・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 （２）観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。 （３）自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数 105	時間	
使用教科書	わくわく理科5（啓林館）					
主な指導の工夫	・写真や学習映像、インターネットなどの視聴覚教材を活用した学習で、学習内容への興味、関心を高め、より具体的に学べるようにする。 ・実験や観察は、予想した考えを確かめる楽しさが味わえるようにする。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	花のつくり	3	◆ アブラナの花のつくりを観察し、めしべ・おしべの特徴を調べることにより、花びらが散った後、めしべのもとが育って実になり、中に種子ができることを捉えられるようにする。 ◇ 花が咲いた後、実はどこにできるのか観察をする。			
5	植物の発芽と成長	1	◆ 植物の発芽や成長のようすに問題を見出し追及する活動を通して、発芽や成長に関わる条件を関係づけて捉えられるようにする。 ◇ 植物は、どのような条件がそろえば、発芽し成長するのか調べる。			○
		3	◇ 植物の発芽と水の関係について、予想して実験をして確かめる。	○		
		2	◇ 温度や空気と発芽の関係について、実験を通して考える。		○	
		2	◇ 子葉がしぼんでいく理由を、予想や仮説をたてて実験で確かめる。		○	
		4	◇ 子葉がとれた植物が、さらに成長する条件を実験で確かめる。		○	
		2	◇ この単元で学んだことが、生活や学習に生かせるか考える。			○

6	メダカのたんじょう	<p>◆ メダカの雌雄の体の違いや受精卵のようすを観察し、発生の条件や過程を捉えられるようにする。</p> <p>2 ◇ メダカのたまごは、日がたつにつれ、どう育っていくのか調べる。</p> <p>4 ◇ メダカのたまごが育つ様子を観察し、記録を整理しまとめる。</p> <p>2 ◇ この単元で学んだことが、生活や学習に生かせるか考える。</p>	
7	ヒトのたんじょう	<p>◆ ヒトの卵や胎児の成長の様子を時間の経過と関係づけて捉えられるようにする。</p> <p>1 ◇ 母親の体内で赤ちゃんはどのように育っていくのか考える。</p> <p>3 ◇ ヒトは、母親の体内で、どう育って誕生するのか、資料で調べる。</p> <p>1 ◇ ヒトがどのように育ってきたのかをまとめて発表する。</p> <p>2 ◇ この単元で学んだことが、生活や学習に生かせるか考える。</p>	
	台風と気象情報	<p>◆ 台風の動きや進路について、気象情報を活用して、その特徴をとらえてまとめることができる。</p> <p>2 ◇ 台風の動きと、台風に伴う天気の変化について、資料で調べる。</p> <p>3 ◇ 台風による風や雨とわたしたちのくらしとの関係を考える。</p>	
9	花から実へ	<p>◆ 植物の花のつくりや実のでき方について、花の役割や受粉と結実との関係を捉えられる。</p> <p>2 ◇ 植物がどのように実をつくり、生命を受け継ぐのか考える。</p> <p>3 ◇ ヘチマのめばなとおばなのつくりを観察をする。</p> <p>3 ◇ 受粉をしなければ実はできないのか、実験を通して考える。</p> <p>2 ◇ この単元で学んだことが、生活や学習に生かせるか考える。</p>	

10	雲と天気の変化	<p>◆ 雲の形や量、動きと天気の変化を関係づけて調べ、天気の変化のしかたを捉えられる。</p> <p>◇ 雲と天気には、どんな関係があるのか考える。</p> <p>◇ 天気が変わるときの雲のようすについて、観察を通して考える。</p> <p>◇ 雲の動きと天気の変化についての関連性を資料を活用して調べる。</p> <p>◇ 雨や雪がわたしたちの暮らしとどう関係するか資料で調べる。</p> <p>◇ この単元で学んだことが、生活や学習に生かせるか考える。</p>	
11	流れる水のはたらき	<p>◆ 見出した問題を追及する活動を通して、流れる水のはたらきや川のようすの違いを理解できるようにする。</p> <p>◇ 流れる水のはたらきや、それが土地をどう変化させるのか考える。</p> <p>◇ 流れる水には、どんなはたらきがあるのか、実験を通して考える。</p> <p>◇ 流れる水の量が変化と水のはたらきとの関連性を実験で調べる。</p> <p>◇ 実際の川の流れでも、同じようなはたらきがあるのか、映像資料などを利用して調べる。</p> <p>◇ 川を流れる水は、わたしたちの暮らしとどんな関係があるのか、資料を活用して考える。</p> <p>◇ この単元で学んだことが、生活や学習に生かせるか考える。</p>	
	みんなで使う理科室	<p>◆ 理科室にある実験器具や加熱器具などの準備の仕方、また片づけ方などを身に付けるとともに、正しく安全に実験ができる。</p> <p>◇ 理科室のルールや実験前に留意しておくこと等を確認する。ガラス器具の洗い方やスタンドの使い方を覚え</p>	

12	ふりこのきまり	<p>◆ 振り子の運動の規則性を調べる活動を通して、実験に関する技能を身に付けるとともに、振り子運動の規則性について理解する。</p> <p>1 ◇ 振り子のふれ方には、何かきまりがあるのか考える。</p> <p>1 ◇ 振り子が1往復する時間が変化する条件を活動を通して考える。</p> <p>3 ◇ 振れ幅、おもりの重さ、振り子の長さを変えたとき、振り子が1往復する時間の変化を調べる。</p> <p>2 ◇ この単元で学んだことが、生活や学習に生かせるか考える。</p>	<div style="background-color: #cccccc; height: 40px; width: 100%;"></div> <div style="border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; height: 100px; width: 100%;"></div> <div style="text-align: right; height: 100px; width: 100%;">○</div>
1 2	もののとけ方	<p>◆ ものの溶け方の規則性を調べる活動を通して、実験に関する技能を身に付けるとともに、ものの溶け方の規則性について理解する。</p> <p>2 ◇ 食塩などが水に溶ける時のようすを観察する。</p> <p>2 ◇ 水に溶けたものの重さはどうなるのか、実験を通して考える。</p> <p>2 ◇ ものが水に溶ける量には限りがあるか、実験で確かめる。</p> <p>2 ◇ 水の量と水に溶けるものの量の関連性を実験で調べる。</p> <p>2 ◇ 水の温度と水に溶けるものの量の関連性を実験で調べる。</p> <p>2 ◇ 水溶液を冷やすと溶けているものを取り出せるか実験で確かめる。</p> <p>2 ◇ 水を蒸発させると溶けているものを取り出せるか実験で確かめる。</p> <p>2 ◇ この単元で学んだことが、生活や学習に生かせるか考える。</p>	<div style="background-color: #cccccc; height: 40px; width: 100%;"></div> <div style="border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; height: 100px; width: 100%;"></div> <div style="text-align: right; height: 100px; width: 100%;">○</div>
	電流と電磁石	<p>◆ 電磁石づくり、その性質を調べる活動を通して、電磁石の極の性質や強さが変化する要因について捉えられる。</p> <p>1 ◇ 電磁石をつくり、ゼムクリップで電磁石のはたらきを調べる。</p>	<div style="background-color: #cccccc; height: 40px; width: 100%;"></div> <div style="border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; height: 100px; width: 100%;"></div> <div style="text-align: right; height: 100px; width: 100%;">○</div>

3	3	◇ 電磁石の極の性質を、棒磁石と比べる活動を通して調べる。	○
	3	◇ 電磁石にはどのような性質があるのか、活動を通して考える。	○
	4	◇ 電磁石を強くするには、どうすればよいのか活動を通して考える。	○
	2	◇ この単元で学んだことが、生活や学習に生かせるか考える。	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第5年	
教科等名	音楽			学習グループ	⑬	
ねらい	(1)曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 (2)音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3)主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数	50 時間	
使用教科書	音楽のおくりもの5 教育出版					
主な指導の工夫	音楽の情景を写真などで提示し、音楽にある背景を感じられるようにする。 ・活動への意欲を高められるよう、児童の興味・関心のある音楽や楽器も適宜取り上げる。 ・授業中の児童の様をよく観察し、適切な支援・指導ができるようにする。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	スキルアップ	4	◆ 呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能や、拍に合わせて、全体の響きを聴いて演奏する技能を身に付ける。 ◇ 曲想を感じ取って表現を工夫し歌う。			
	にっぽんのうた みんなのうた	3	◆ 自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 ◇ 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、日本の歌に親しむ。			○
5	和音や低音のはたらき	5	◆ ハ長調の主要三和音に親しむ。 ◇ 和音や低音の響きを聴き取り、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。			○
	声のひびき合い	5	◆ 各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。			

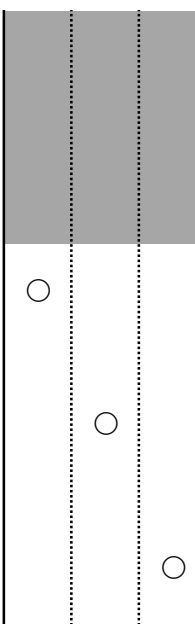
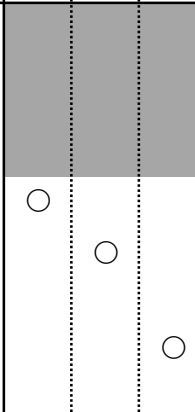
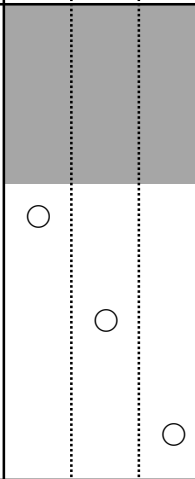
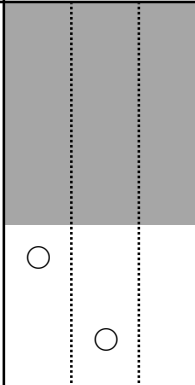
7	めざせ楽器名人	3	<p>◇ 表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p> <p>◆ 曲想やフレーズとリコーダーの音色や演奏の仕方との関りについて理解するとともに、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。</p>	○
	音のスケッチ	2	<p>◇ リコーダーアンサンブルに親しむ。</p> <p>◆ 旋律と和音の関わり、旋律のまとまりについてリコーダー、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。</p>	○
9	オーケストラのみりょく	4	<p>◇ ハ長調の主要三和音や、旋律づくりに親しむ。</p> <p>◆ 楽器の音色や楽器群ごとの響きなど、音楽の構造と関わりについて理解する。</p>	○
			◇ 楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、オーケストラの音楽に親しむ。	○
10	にっぽんのうた みんなのうた	4	<p>◆ 自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。</p>	
			◇ 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、日本の歌に親しむ。	○
11	音楽の旅	5	<p>◆ いろいろな国の音楽の旋律や声、楽器の音色、音の重なり、拍の有無を聴き取り、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p>	
			◇ 我が国や諸外国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとのかかわりについて興味をもち、多様な音楽やその表現に親しむ。	○
12	豊かな表現を求めて	4	<p>◆ 拍やその流れ、フレーズ、旋律のもつリズムを聴き取り、それらのよさを感じ取りながらどのように演奏するかについて思いや意図をもつ。</p>	
			◇ フォルクローレの音楽に親しむ。	○

	音のスケッチ	2	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 多様な声の表情や強弱について理解し、即興的に声を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 ◇ 詩をもとに声で音楽をつくる。 			
1	にっぽんのうた みんなのうた	1	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 ◇ 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、日本の歌に親しむ。 			○
	ききどころを見つけて	3	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 曲想と旋律や音色など、音楽の構造との関わりに気付く。 ◇ 楽器の音色に興味をもち、オーケストラの響きに親しむ。 	○		○
2	音のスケッチ	2	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 反復するリズムのずれによる音楽の縦と横との関係について、それらの生み出すよさや面白さについて理解する。 ◇ インターロックの音楽に親しむ。 			○
3	変そう曲を楽しもう	3	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 主題の変化や伴奏の動き、楽器同士の関わり合いを聴き取り、曲全体を味わって聴く。 ◇ 変奏曲に興味をもち、音楽活動を楽しみながら室内楽に親しむ。 			○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第5年	
教科等名	図画工作			学習グループ	⑬	
ねらい	(1)対象や事象と捉える造形的な支援について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。					
	(2)造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。					
	(3)主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数	50 時間	
使用教科書	図画工作5・6上下（日文）					
主な指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な材料を使い、創造して取り組む楽しさを味わえるようにする。 ・授業中の児童の様をよく観察し、適切な支援・指導ができるようにする。 					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	絵の具スケッチ	4	<p>◆ 身近な場所や物を見て、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、よいと感じた印象や思いを絵に表す。</p> <p>黄ボール紙に液体粘土を塗ったり、破いたりして、スケッチの紙をつくり、表したい場所やものを思いのままにかく。</p> <p>◇ つくった紙と水彩用具をもって、表したい場所を探す。</p> <p>◇ かいたものを組み合わせたり、友人とお互いの作品を紹介し合ったりする。</p>			
5	あんなところがこんなところに見えてきた	4	<p>◆ 身近な場所の特徴から発想を広げて、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、いろいろな材料を活用し、工夫して楽しい空間につくり変える。</p> <p>◇ 形や色、あるものなどを確かめながら、いろいろな場所を見て回る。</p> <p>◇ 気に入った場所を、場所の形や色などの特徴、あるものなどを生かしながら、材料や用具を工夫して使い、つくり変える。</p> <p>◇ 友人とお互いがつくり変えた場所を見て回り、よさを伝え合う。</p>			

6	カードを使って	<p>4 ◆ 自分で作ったカードや・アート・カードを使って、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、感じ合ったことや思ったことを伝え合い、よさや美しさを感じ取り見方や感じ方を深める。</p> <p>◇ 形や色などを基に、よいと思ったところや感じたことなどを話し合う。</p> <p>◇ アート・ゲームをしながら、いろいろな美術作品のよさや美しさを感じ取り、友人の見方や感じ方を知り、深める。</p> <p>◇ つくったカードやアート・カードを並べて好きな作品や気になったカードなどについて話し合う。</p>	
7	形が動く 絵が動く	<p>5 ◆ 動きが連続して見えるアニメーションの仕組みを生かして、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表現を工夫して楽しい作品をつくる。</p> <p>◇ アニメーションの仕組みを知る。</p> <p>◇ 動く楽しいものやお話を考える。</p> <p>◇ 動きを確かめながら協力してつくり、つくった作品を上映し、お互いの作品のよさや楽しさを味わう。</p>	
9	まだ見ぬ世界	<p>5 ◆ 心に留まる写真から、まだ見たこともない世界の様子を想像し、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。</p> <p>◇ 写真から想像を広げて、絵に表す。</p> <p>◇ 動き、奥行き、バランス色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをどのように主題を表すかについて考える。</p> <p>◇ つくりだす喜びを味わい絵に表す学習活動に取り組む。</p>	
10	でこぼこの絵	<p>4 ◆ 薄い板を重ねてできる、でこぼこの面白さから表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、構成の美しさなどの感じを考え、自分の思いに合わせて工夫して絵に表す。</p> <p>◇ 板の形や色などを変え工夫して表す。</p> <p>◇ 板切れを置いたり重ねたりして、でこぼこの画面を考える。</p>	

		◇ 友人とお互いの作品を見合い、よさや美しさを感じ取る。			○
11	わくわくプレイランド	6 ◆ 木の板を使って楽しく遊ぶゲームを考え、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、材料や用具の使い方を工夫して表す。 ◇ 電動のこぎりの安全な使い方を知る。 自由に切り分けた板を一回り大きな段 ◇ ボールや板などに並べ、ゲームを考える。 つくった作品で友人と遊び、お互いの ◇ 作品のよさや工夫したところを話し合う。			○
12	光と場所のハーモニー	5 ◆ 光と場所の特徴を基に、光を使って空間を変化させる方法を思いつき、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、活動を工夫して美しい空間をつくる。 ◇ いろいろな材料に光を当てて、壁や天井などに映る形や色を試す。 材料や、活動する場所の空間の特徴などを基に造形的な活動を思い付き、構成する。 つくりだす喜びを味わい、主体的に光 ◇ と場所の特徴を生かして、美しい空間をつくる学習活動に取り組む。			○
1	言葉から思いを広げて	4 ◆ 市や短歌、物語などの言葉からにじみ出る雰囲気や感じ取った思いが伝わるように、両面の構成を考え、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。 詩や短歌、物語などを読んで、感じたことや思い浮かべたことを小さな紙に簡単にかく。 ◇ かいたことや読んで感じたことを基に表したいことや表し方を考える。 ◇ 友人とお互いの作品を紹介し合い、どのような事を表したのか伝え合う。			○
2	わたしのいい形	5 ◆ 粘土などの塊に触れ、感じたり思い浮かんだりしたことを、手や用具の使い方を工夫して彫って、形などの造形的な特徴を捉えながら立体に表す。 ◇ 用具の使い方を工夫して、表現を深める。			○

		<ul style="list-style-type: none"> ◇ 掘り出したい形を想像したり、塊を削りながら表したいことを考える。木彫風粘土や石けんなどの材料に触れて塊の中に見えてきた形を彫りだすことに興味をもつ。 	○	○
3	伝え合いたい思い	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 大好きな場所のよさや思いを伝えることができるように、形や色などの特徴を捉えながら、材料や用具の使い方を工夫して表し紹介する。校舎や校庭から大好きな場所や思い出の場所を選び、その理由や思いを考えたたり、思いを文章に書く。 ◇ 簡単な絵にかくなどして、思いが伝わるようなプレートの構想を練る。 ◇ 場所に飾った作品の表現の意図や工夫についてプレゼンテーションする。 		
			○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	小学部	学年	第5年	
教科等名	家庭科		学習グループ		⑬	
ねらい	(1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど課題を解決する力を養う。 (3) 家庭生活を大切にできる心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝		年間授業時数	62 時間		
使用教科書	小学校 わたしたちの家庭科5・6(開隆堂)					
主な指導の工夫	・生活の中から問題を見出し、課題を設定し、解決方法を検討し、計画・実践・評価・改善するという一連の学習過程を重視し、知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力の育成をする。 ・ICTを活用して、個に応じた指導、児童の協働的な学びなどを行う。 ・実感を伴った理解を深めるために、実際に見たり、触れたりすることができる実物や標本、ふれあい体験などに必要な教材の充実をする。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	これまでの学習を家庭科につなげよう(ガイダンス)	1	◆ 家庭科を学ぶ意義や2年間の学習の見通しがあり、目指す自分の姿をイメージし、目標をもつことで家庭科学習への意欲を高める。 ◇ よりよい家庭生活を実現するための見方・考え方について意見を出し合い4つの視点をイメージする。			
	1 家族の生活再発見	1	◆ これまでの自分の生活が家族に支えられてきたことに気づく。 ◇ 教科書を見て自分の1日の生活と比べる。			
5	2 クッキングはじめての一步	8	◆ 生活を支える家族の仕事はさまざまあり、家族の協力が必要なことが分かる。 ◇ 毎日の生活を支えている家庭の仕事には何があるか話し合い、分かったことをまとめる。 ◆ 調理をすることの良さや、調理の流れ、調理用具の使い方が分かる。 ◇ 調理の流れを知り、調理用具の名称や使い方を確認する。 ◆ 青菜のゆで方が分かり、ゆでることができる。じゃがいものゆで方が分かり、ゆでることができる。 ◇ 家庭科室のガスコンロを使って湯をわかす。青菜のゆで方を知りゆでる。じゃがいものゆで方を知りゆでる。ゆで方の違いを確かめる。			

6	<p>3 ソーイングはじめの一歩</p>	<p>◆ 必要な材料や手順を考えゆで野菜サラダの計画を立てることができる。調理に必要な用具や食品を安全で衛生的に取り扱い、ゆで野菜サラダを作ることができる。</p> <p>◇ ゆで野菜サラダの調理に必要な物や作業の手順を考えて計画表を作成して、調理する。学習をふり返り、学習したことを生活にどのように生かすか考える。</p>	<p>○</p>
	<p>8</p>	<p>◆ 疑問点や調べたいことをもとに、課題を設定する。</p> <p>◇ 針と糸で縫うことと、のりをつける違いや扉の写真から気が付いたことを話し合っ課題を見つけ、学習の見通しをもつ。</p> <p>◆ 玉結び、玉どめの役割が分かり、玉結び・玉どめができる。なみ縫い、返し縫い、かがり縫いそれぞれの縫い方の役割や、ボタンのつけ方が分かり、目的に合った縫い方やボタンつけができる。</p> <p>◇ 針と糸を使って、玉結び、玉どめ、名前の縫いとりをする。なみ縫い、返し縫い、かがり縫いをする。ボタンつけをする。</p> <p>◆ なみ縫い、返し縫い、かがり縫いで小物を作ることができる。これまでの学習をふり返り、できるようになったことを自覚したり、製作への意欲をさらに高めたりする。</p> <p>◇ 製作計画を作成して、手縫いで小物を作る。これまでの学習をふり返り、製作したものを使用した感想や作ってみたいものについて話し合う。話し合いをもとに学習したことを生活にどう生かすか考える。</p>	<p>○</p>
<p>4 整理・整とんで快適に</p>	<p>4</p> <p>◆ 整理・整とんの仕方について問題を見いだして課題を設定する。</p> <p>◇ なぜ整理・整とんが必要なのか考え、話し合う学校内の整理・整とんの様子を調べる。</p> <p>◆ 整理・整とんの仕方を理解しているとともに、適切に行う。整理・整とんの仕方について実践に向けた計画を考え工夫する。</p> <p>◇ 整理・整とんの手順を考え実行する。整理・整とんをふり返って改善する。</p>	<p>○</p>	

7	5 できるよ、家庭の仕事	2	<p>◆ 環境に配慮した物の使い方について理解する。整理・整とんの仕方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとする。</p> <p>◇ 道具箱の整理で出た不用品を見て、なぜ同じ物や不用品が増えるのか考え、意見を出し合う。不用品を増やさないためにはどうすればよいかグループで話し合う。生活の中で不用になった物をごみにしないためにはどうしたらよいかグループで話し合う。物を生かして使う工夫として、3Rや5Rの考え方を確認して、自分の生活への生かし方を考える。</p>	
9	6 ミシンでソーイング	11	<p>◆ 学んだことを生かして自分にできる家庭の仕事を見つける。</p> <p>◇ これまで家庭科でどのようなことを学んだか、学習ノートなどからふり返り、できるようになったことなどを発表する。</p> <p>◆ 見つけた仕事に取り組む計画を立て、実行することができる。</p> <p>◇ 学んだことを生かして自分にできる家庭の仕事を考え、グループでアイデアを出し合い、計画を立てて仕事を実行する。</p> <p>◆ 自分の仕事として、家族と協力して続けることができる。</p> <p>◇ 「わたしの仕事 ふり返りカード」を発表し合う。友だちの発表を聞いて、自分の生活に生かしたいことを話し合い、ノートにまとめる。自分の仕事としてどう続けるか考える。</p> <p>◆ 身の回りの生活にはミシンで作られているものが多いことに気づき、ミシンに関心を持ち、ミシン縫いの特徴が分かる。</p> <p>◇ 身の回りからミシンで作られているものやミシンについて知っていることを話し合う。ミシン縫いの特徴について観察し話し合う。ミシン縫いの特徴を確認し、ミシンを使って作品を製作する学習の見通しをもつ。</p> <p>◆ ミシンの安全な使い方を知り、ミシンの準備やから縫いができる。</p> <p>◇ ミシンの安全な使い方を知る。ミシン縫いの準備をする。から縫いをする。</p> <p>◆ ミシンを使って布を用いて製作するものを考え、製作計画を立てて製作し、活用することができる。</p>	

		<p>◇ 布を用いて生活に役立つものを製作するために必要な用具や製作の手順を考えて計画表を作成する。ミシンを安全に操作して、製作する。製作学習で学んだことをどのように生活に生かしていけるか考える。</p>	
10	7 食べて元気に	<p>◆ なぜ食べるのか食事の役割が分かる。</p> <p>◇ 教科書p.48の写真を見て気づいたことや、朝・昼・夜に食事をするのはなぜか話し合い、なぜ食べることが必要なのか話し合う。</p> <p>◆ ご飯の調理の仕方が分かり、ご飯をたくことができる。みそしるの調理の仕方が分かり、みそしるを作ることができる。食品の栄養的な特徴に関心を持ち、五大栄養素の種類と体内でのその働きが分かる。食品に含まれている主な栄養素の主な働きにより、食品を3つのグループに分ける分け方が分かる。</p>	
11		<p>◇ ご飯とみそしるの調理を行うことを知り、米とみそについて調べる。ご飯とみそしるの調理をする。実習したご飯とみそしるの材料の食品を五大栄養素に分けてその働きや栄養素の働きによって3つのグループに分けてみる。</p>	
12		<p>◆ 毎日の食事に栄養を考えた食事やご飯とみそしるの調理を生かそう。</p> <p>◇ 栄養のバランスを考えたみそしるの実際の組み合わせの工夫を考えて発表する。みそしるを作る計画を立てて、健康に過ごせるような栄養バランスを考えた実践の計画表を作成して実践する。</p>	
1	8 生活を支えるお金と物	<p>◆ 物や金銭の大切さについて理解する。</p>	
		<p>◇ p.58・59の扉のイラストやp.120・121のイラストを見ながら、家族が生活するために、何にお金を使っているか話し合う。家族の生活を支えるお金が、多くの場合家族の労働により得られていることを確認する。</p> <p>◆ 消費者の役割について理解する。物や金銭の計画的な使い方について理解する。買い物の仕組みについて理解する。現金以外のいろいろな買い物の仕方について理解する。</p>	
		6	

2	<p>9 暖かく快適に過ごす着方</p>	3	<p>◇ 買物での失敗経験について話し合い、失敗しないためにどうしたらよいか考える。p.60のフローチャートを使って、商品を買う前に考えることを話し合う。売買契約が成り立つのはどんなときか知る。現金以外の支払いに使えるカードや通信販売などのいろいろな買い物の仕方があることを知る。</p> <p>◆ 身近な物の選び方について理解する。身近な物の買い方について理解する。購入するために必要な情報の収集・整理を理解しているとともに適切にできる。</p> <p>◇ 買い物の手順を確認し、買い物をするときには、どのようなことに気をつけるか話し合う。商品に関する情報を集める手段を考える。商品を選ぶときの観点を考えたり、商品の表示やマーク等が選ぶときに役立つことを知る。工夫して買い物をするための計画を立てる。計画をふり返り、これからの生活での生かし方を考える。</p>	○
	<p>10 暖かく快適に過ごす住まい方</p>	3	<p>◆ 衣服の主な働きや暖かい着方の特徴に気づく。</p> <p>◇ 教科書 p.64のイラストから気づいたことを話し合い、なぜそのような服を着ているか考える。教科書 p.65写真から暖かい着方に気づき、衣服の主な働きや暖かい着方の特徴を話し合っ、自分の課題を設定する。</p> <p>◆ 衣服をどのように着ると健康で快適に過ごせるか、安全に生活できるかなどの衣服の主な働きについて理解する。</p> <p>◇ 教科書 p.65実験を行って、熱を逃がさない重ね着の保温性について確認する。教科書 p.66衣服の保健衛生上及び生活活動上の働きについて考える。暖かく快適な着方と衣服の主な働きについてまとめる。</p> <p>◆ 日常着の快適な着方を工夫する。</p> <p>◇ 教科書 p.67野外活動に合う着方を考える。活動に合う着方を発表する。題材の第1時で設定した自分の課題を実際の生活でどう生かしていくか考える。</p>	○
	<p>10 暖かく快適に過ごす住まい方</p>	3	<p>◆ 住まいの主な働きが分かる。</p> <p>◇ 寒い日の生活で困っていることや不便なことをふり返る。イラストや写真を参考に、寒い日を快適に過ごすための工夫を話し合い、発表する。寒い日の過ごし方の工夫について、気づいたことをまとめる。</p>	○

3	1 1 いっしょにほっとタイム	2	◆ 寒い季節の快適な住まい方が分かる。暖かい住まい方について課題を見出し、快適に過ごすための方法を考えることができる。		
			◇ 教科書 p.68・69 のイラストから冬の暮らしで気づいたことを話し合い、寒い日に「快適に過ごすための工夫」を話し合う。学校の住環境を調べ、分かったことを発表する。暖かく住まうための工夫を実践する。今後の学校生活や家庭生活で改善してみたいこと考える。	○	
			◆ 自分の生活に合わせて工夫し、快適な住まい方を実践することができる。		
			◇ 家庭で調べてきた住まいの工夫を発表する。自分の住まい方に合った快適さアップの方法を考える。家庭でどのように実践していくかをまとめる。		○
			◆ 家族や周囲の人との触れ合いや団らんに関心を持ち、よりよい関わりについて考え、その大切さが分かる。		
			◇ 教科書 p.72 の写真4枚を見て、気づいたことを発表する。ほっとするのはどんなときか、学校や家庭での経験を発表する。		○
			◇ 周囲の人とのつながりを深めるにはどうしたらよいか話し合う。班のメンバーや家族などを想定してほっとタイムの計画表を作成する。		○
			◆ 家族や周囲の人々と楽しく過ごすことについて考えたり、自分の生活の中で生かすことを考えたり工夫したりする。		
			◇ 家族や学校の人などの集まりで楽しく過ごすためにどのような工夫ができるか考える。会話の工夫やかんたんな食べ物等を用意して実行して振り返る。学習したことをどのように学校や家庭で生かせるか考える。		○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第 5~6 年	
教科等名	体育			学習グループ	⑬	
ねらい	(1)特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身につけるようにする。 (2)運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数	20 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	・児童の実態や目標に即して、小集団に分けて授業を行う。 ・児童が自分の運動の振り返りを行うことができるようにするため、振り返りシートや視覚教材等を活用する。 ・児童が授業における目標を設定することで、主体的に運動に取り組めるようにする。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	生活と健康（保健）	2	◆ 自身の生活を振り返るとともに、健康への興味関心を高める。 ◇ 生活習慣病についての学習 ◇ 薬物についての学習			
4 7	体づくり運動 運動会練習 プール	10	◆ 身体をたくさん動かして、健康の保持増進と、体力向上を目指す。 ◇ 体操、5分間走 ◇ 体づくり運動 ◇ プール学習			○ ○ ○
9 12	球技 ・ポッチャ ・ティーバットベース ボール	7	ルールのある競技を通して、自己の運 ◆ 動力を高めるだけではなく、友達と協力したり、高め合ったりする。 ◇ ルールの理解 ◇ ボールを投げる・転がす等の練習 ◇ チームでの練習と試合	○		○ ○
1 3	表現の運動	3	集団でのリズムダンスを通して、自己の運動能力を高める。 ◇ 小グループでの動きの確認 ◇ 小グループでの練習・発表		○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	小学部	学年	第5年	
教科等名	外国語			学習グループ	⑬	
ねらい	<p>(1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	Here We Go! 5 (光村図書)					
主な指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・映像などを適宜活用し、英語を使う楽しさを感じられるようにする。 ・実態に応じた題材選定や授業展開を心がけ、児童が達成感を得られるように留意する。 ・授業中の児童の様をよく観察し、適切な支援・指導ができるようにする。 					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	Let's Start	2	◆ 中学年の復習 ◇ アルファベットや数字を復習する。	○		
5	Unit 1 Hello, everyone.	6	◆ 名前や好きなものを言って、自己紹介をすることができる。 ◇ 自己紹介をするための言い方を知 ◇ 名前のつづりをたずね合う。 ◇ 好きなものをたずね合う。 ◇ 名刺を交換して自己紹介する。	○		○
6	Unit 2 When is your birthday?	6	◆ 誕生日や誕生日にほしいプレゼントをたずね合うことができる。 ◇ 誕生日や身の回りのものの言い方を知る。 ◇ 誕生日をたずね合う。 ◇ 誕生日にほしいプレゼントをたずね合 ◇ 誕生日カレンダーを作る。	○		○

7	Unit 3 What do you have on Monday?	8	<p>◆ 教科や曜日など時間割について伝えることができる。</p> <p>◇ 教科や時間割の言い方を知る。</p> <p>◇ 好きな教科をたずね合う。</p> <p>◇ 各曜日の時間割をたずね合う。</p> <p>◇ オリジナル時間割を作って紹介する。</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	Review 世界の友達 1	1	<p>◆ 世界の小学生についての理解を深める。(異文化理解)</p> <p>世界の小学生の映像から、Unit 1 - 3で学んだ表現を振り返るとともに、</p> <p>◇ 世界の人々や文化に対して関心と理解を深める。</p>	<input type="checkbox"/>
9	Unit 4 What time do you get up?	8	<p>◆ 家の手伝いや1日の生活についてたずね合うことができる。</p> <p>◇ 手伝いや1日の生活の言い方を知る。</p> <p>◇ どのくらい手伝いをしているか伝える。</p> <p>◇ 1日の生活でいつ何をするかたずね合う。</p> <p>◇ 休日の過ごし方についてたずね合う。</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
10	Unit 5 He can run fast.She can do <i>kendama</i> .	6	<p>◆ 自分や他の人ができることやできないことを紹介することができる。</p> <p>◇ スポーツや動作などの言い方を知る。</p> <p>◇ できるかどうかをたずね合う。</p> <p>◇ 友達ができることやできないことを伝える。</p> <p>◇ 先生ができることやできないことを紹介する。</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
11	Unit 6 I want to o to Italy.	8	<p>◆ 行きたい国やそこでできることを紹介することができる。</p> <p>◇ 世界の国々の言い方を知る。</p> <p>◇ 世界の国でできることを伝える。</p> <p>◇ 行きたい国とその理由をたずね合う。</p> <p>◇ ポスターを使って行きたい国を紹介する。</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

12	Unit 7 What would you like?	6	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 料理を注文したり、値段をたずねたりする受け答えができる。 ◇ 食べ物や飲み物、値段の言い方を知る。 ◇ ていねいな言い方で料理を注文する。 ◇ ものの値段をたずね合う。 ◇ レストランで、値段を確かめて注文する。 	○	○	○
	言葉について考えよう 伝わる表現を選ぼう	1	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 意図を伝えるていねいな言い方をする。「心をつなぐ言葉」を大切にする。 ◆ 意図を伝える表現について考える。 ◇ 場面に応じた相手とのよい関係をつくる言葉を考える。 	○	○	○
	Review 世界の友達 2	1	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 世界の小学生についての理解を深める。(異文化理解) ◆ 世界の小学生の映像から、Unit 4 - 7で学んだ表現を振り返るとともに、世界の人々や文化に対して関心と理解を深める。 	○	○	○
1	Unit 8 Where is the gym?	8	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 場所をたずねたり、道案内をしたりする受け答えができる。 ◇ 店や施設、道案内の言い方を知る。 ◇ ものがどこにあるかをたずね合う。 ◇ 道をたずねたり、答えたりする。 ◇ 自分たちも考えた町の道案内をする。 	○	○	○
2 3	Unit 9 My hero is my brother.	8	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 職業や性格などを言って、身近なあこがれの人を紹介することができる。 ◇ 人を紹介するための言い方を知る。 ◇ 人の職業などを伝える。 ◇ 人の性格などを伝える。 ◇ 身近なあこがれの人を紹介する。 	○	○	○
	Review 世界の友達 3	1	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 世界の小学生についての理解を深める。(異文化理解) ◆ 世界の小学生の映像から、5年生でこれまで学んだ表現を振り返るとともに、世界の人々や文化に対して関心と理解を深める。 	○	○	○

※ 評価の観点：「知識」=知識・技能、「思考」=思考・判断・表現、「態度」=主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	小学部	学年	第5年	
教科等名	特別の教科 道徳			学習グループ	⑬	
ねらい	よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。					
当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数	35 時間	
用教科書	小学道徳 ゆたかな心 5年(光文書院)					
主な指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活全般において指導を行う。 ・題材に応じて、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間および特別活動との関連を考慮しながら指導を行う。 					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				理解	心情	意欲
4	よりよい未来を創るもの (帰ってきたはやぶさ)	3	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 真理を大切にして、ものごとを探求し、よりよい未来を築こうとする。 ◇ 進んで新しいことを求めることの価値について考える。 	○		
5	仲間を信じて (まかせてみようよ)	3	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる考えや立場を認め、尊重していこうとする。 ◇ 意見や考え方が違う仲間と認め合う方法について考える。 	○		
6	日本の紹介 (いっしょに何をしようかな)	3	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 世界の人々との親善に努めようとする。 ◇ 自分の家に外国の人が来たらどんなことをするかを話し合う。 ◇ 「いっしょに何をしようかな」を読んで、外国の人々との関わり方について話し合う。 ◇ 外国の人と親しく付き合うために大切だと思うことをまとめる。 	○	○	○
7	自然を守る (海を耕す人たち)	3	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自然と共存していくために、自分なりの方法で自然環境を大切にしようとする。 ◇ 自然を守ることについて話し合う。 ◇ 「海を耕す人たち」を読んで、自然を守ることについて考える。 	○		○
9	いじめに負けないために 「スイミー作戦」 「ガンジー作戦」	3	<ul style="list-style-type: none"> ◆ だれに対しても差別をしたり偏見をもったりすることなく、公正、公平に接しようとする。 ◇ 自分と友達の違いを話し合う。 	○		

			◇ 「『スイミー作戦』『ガンジー作戦』」を読んで、「いじめ」について考える。				○
10	自分らしさを発揮して (短所も長所)	3	◆ 自分の特徴を知り、短所を改め、長所を積極的に伸ばしていこうとする。 ◇ 「自分らしさ」とは何かについて話し合う。 ◇ 自分のよさをどのように伸ばしたいか、まとめる。				○
11	日本の文化遺産 (世界の文化遺産)	3	◆ 日本や郷土の文化に興味をもち、その文化的価値を考え、わが国の文化を大切にしていこうとする。 ◇ 世界遺産について話し合う。 ◇ 「世界の文化遺産」を読んで、日本の文化遺産のよさについて考える。				○
12	親切を生むもの (藤井駅のホームでのできごと)	3	◆ だれに対しても思いやりの心をもって接しようとする。 ◇ 親切な人を想起し、その人が親切な行動ができる理由を考える。 ◇ 本時で学んだことを自分の言葉でまとめる。				○
1	自分の心が見ている (心の管理人)	3	◆ 自由を大切にし、自律的に判断して、規律ある行動をとろうとする。 ◇ 自由の概念を出し合う。 ◇ 「心の管理人」を読んで、自由の意味やよさを考え、今日の学習をまとめる。				○
2	ささえ合う心 (明日へ向かって)	4	◆ 社会に奉仕する喜びを味わうと共に、公共のために役立つことをしていこうとする。 ◇ 東日本大震災について押さえる。 ◇ 「明日へ向かって」を読んで、ボランティアの重要性について話し合う。				○
3	強い思いをもって (マララ・ユスフザイ 一人の少女が世界を変える)	4	◆ 人間として生きる喜びを感じ、自分にとってのよりよい生き方を見つけようとする。 ◇ 「マララ・ユスフザイ」を読んで、マララの生き方から学んだことをまとめる。				○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第5～6年	
教科等名	総合的な学習の時間			学習グループ	⑬	
ねらい	(1)探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解するようにする。 (2)実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3)探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	・調べ学習や調理実習においては、児童にとって目的意識をもてるような働き掛けや授業計画を立てる。 ・題材に応じて、各教科、外国語活動および特別活動との関連を考慮しながら指導を行う。 ・ICT機器を活用する。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	避難訓練	10	◆ 非常時の行動について知り、災害に備える。 ◇ 避難訓練、防災学習			○
4 7	好きなことについて特集記事を作ろう	25	◆ 自分の好きなことについて調べたことをまとめて発表することを通して、インターネットなどを使用した調べ学習の基本や、まとめ方について学 ◇ 特集記事作り ◇ 発表		○	○
9 12	感謝の気持ちを伝えよう	25	◆ 感謝を伝えるためのおもてなし会を自分たちで企画運営し、主体性や計画性を養う。 ◇ おもてなし会の企画、運営		○	○
1 3	パソコンの基本的スキルを学ぼう	10	◆ パソコンの基本的なスキルとして、Wordソフトを使った簡単な文書が作れるようになる。 ◇ Wordを使った文書作り	○	○	

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第 2~6 年	
教科等名	特別活動			学習グループ	⑬	
ねらい	(1)望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が見通しをもって活動できるように、ねらいや予定を明確に示す。 ・活動の振り返りができるワークシート、作文などを活用する。 ・児童一人一人の実態に合わせたねらい、手立てを設定する。 					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	儀式的行事	18	◆ 見通しをもち、落ち着いて参加する。 ◇ 始業式、終業式、修了式 自分の役割を意識し、落ち着いて参列する。 ◇ 卒業式			○
	学年の時間		◆ 同学年の友達とすすんで交流する。 ◇ ゲーム、行事事前学習など			○
4	オリエンテーション係活動について		◆ 一年間の行事や予定に見通しをもち、学習グループの一員としての自覚 ◇ 予定確認、係活動決め			○
7・12	長期休みの過ごし方について	4	◆ 長期休みの過ごし方について考え、計画的に過ごせるようにする。 ◇ 目標決め、計画		○	
6	お金について考えよう	5	◆ お金が大切なものと理解し、正しい使い方を知る。 ◇ ゲームなどを通してお金について学ぶ。			○
学期末	お楽しみ会をしよう（3回）	12	◆ お楽しみ会の企画・運営を通して、自主性や実行力を養う。 ◇ 学期末のお楽しみ会の企画・運営		○	

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度